

第1回 アドバンスステージ研修

令和4年5月27日(金)リモート研修

講演 「ブロック別園内公開保育研修 企画・運営について」

講師 京都教育大学 准教授 佐川 早季子氏

1. 今、なぜ園内研修が大切なのか？

○園内研修の意義

- ・ 職員の資質向上と保育の質向上の機会。
- ・ 中核に「子どもの研究」。
- ・ 遊びを通じた学び、子ども主体の保育・教育を展開し、子どもを中心に保育のあり方を考える。
→ 自園の保育に関する職員間の共通理解を高める。
- ・ 職員間の関係性の向上を目指し、同僚性を築いていく。
- ・ 「子どもにとってどうなのか」という問いを持ち、現状・課題の把握、改善に向かう保育者集団へ

○「伝達型」園内研修と「協働型」園内研修 (中坪史典編著 (2018) 保育を語り合う「協働型」研修のすすめ、p.21)

「伝達型」園内研修	「協働型」園内研修
<ul style="list-style-type: none">・ 一方向的に知識・技術・情報を伝達する・ 園長などの管理職が積極的に関与して意思決定する・ 上位下達モデル・ 即座に園全体の意思統一を図ることができる・ スピード感を伴った対応が可能になる・ 全員が同じ目標に向かって進むことができる	<ul style="list-style-type: none">・ 職位を問わず保育者が相互に対話する・ 全員で知恵を絞って課題を解決する・ 下位上達モデル・ チームで課題を解決するような感覚が得られる・ 保育者の主体性が認められる・ 同僚と連携を密にすることで相互の悩みを共有できる

→ 「協働型」園内研修を軸に、両方をうまく組み合わせていく。

2. さまざまな園内研修

○子どもを中心とした子ども理解を深めるための園内研修

(岡健(2016)「園内研修を推進」することをめぐる2つのカギ：保育者主導保育からのビフォー&アフターと同僚性、ひとなる書房, pp.75-76)

目的 ①子ども理解の領域 子どもの育ちへの意思をよみとく

②環境構成論・教材解釈論の領域

③やりとりに関する領域 (援助)

○問題解決型アプローチ・・・保育者個人や園の課題意識を出発点に「指導のあり方や悩むこと」について園全体で取り組むアプローチ

○価値発見型アプローチ・・・子ども達の姿から、価値があると思うところを発見し、それを認め支えていくために対話をし、伴走するアプローチ (秋田, 2015)

○一人一人の気づきを深め専門性を高めるために

①子どもの感じている楽しさを見出し、共に楽しむ力をつけること

②そこから明日にもっと楽しむことができるように考えられる力をつけること
子どもの理解の後に見える。

3. 園をひらく試み

・同じ保育を見ることが生み出すもの

(三谷大紀(2020)「同じを保育を見ることが生み出すもの」大豆生田啓友・高嶋景子・三谷大紀『「語り合い」で保育が変わる一子ども主体の保育をデザインする研修事例集』学研)

- ◆ 等身大のチャレンジや目標を公開する。特別な実践をする必要はない。
- ◆ ○か×かと正解を求めるかのように批評・批判しあったりしない。
- ◆ 参加者が尊敬しあい、対等な立場で見たことを語り合い、考える場を作る。
- ◆ 1人では拾いきれない子どもの「声」(思い)を出し合う。



- ◆ 保育を可視化し、言語化する力を獲得。保育者集団としての質が向上。
- ◆ 園が開かれ相互に学び合うネットワークを創り出す。
- ◆ 専門職としての保育者の行為や実践そのものを、第3者(保護者・地域社会・小学校)に對して説明する方法を磨いていく機会にもなる。

4. グループ協議～情報共有～

○同じ保育(事例)を多角的な視点で観る

写真を用いた事例について3つに焦点を当てて意見を出し合う。

①保育者のかかわり

安心して過ごせるような関わりをし、自分から遊ぶことができるようになると見守ったり声掛けをしたりするなど、子どもの姿から思いを汲み取り、援助をしたことが遊ぶ姿に繋がっている。

②環境構成

遊びを子ども達が考え、遊びの広がりや予測した環境づくりが行われていた。

③子ども個人の思いと行動

保育者が関わって遊ぶことで安心感を持ち、自己表出に繋がった。思いに寄り添ってくれる友達がいることで、遊びの楽しさが分かり、遊びこむ姿が見られた。

同じ焦点、違う焦点でそれぞれが意見を出し合い、意見交流が活発になると実感した。

○ブロック別園内公開保育についてどんなことを情報共有したいか?

7グループで話し合い、発表する。

*公開保育での視点は

- ・ ①保育者のかかわり ②環境構成 ③子ども個人の思いと行動 の視点で観る。
- ・ 園の研究主題に応じて視点を決める。
- ・ 研究テーマを踏まえて各園で決める。
- ・ それぞれの園の視点を事前に送り合う。

*カンファレンスの方法

- ・ 3つの視点を織り交ぜた形で話をしていく。
- ・ ポストイットを活用する。(視点ごとにポストイットをつける)
- ・ ポストイットは参加人数に合わせて利用を考えていく。
- ・ ヒントになることを話し合ったり、同じ悩みを共有したりする。
- ・ 写真や動画を活用する。前日の写真(同じ遊びの写真)当日の写真
- ・ 研究主題を基に話をすすめる。

※園内研修で、同僚性を育み学び合う集団になりましょう!



保育の質の向上